

地域の皆さまと病院をつなぐ

GoRoMaRu DaYoRi

# ごろまるだより

2025  
冬号

Topics

## 新年のご挨拶

理事長・竹腰 篤 院長・齊藤 雅也

Topics

ごろまる医療のチカラ  
多職種が協働しチーム医療で患者さんを支える  
地域の頼れるリハビリテーション科を目指していきたい  
リハビリテーション科 医長 平岡 繁典

- 総合犬山中央病院 院外活動報告  
尾北地区感染対策向上地域連携に関する施設ラウンドを行いました  
第25回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in岐阜で発表をしました
- 健康管理センターからのご案内  
尿で出来るがんリスク検査、新規導入しました！
- 第20回ごろまるだより表紙写真コンテスト審査結果発表
- 病院機能評価の認定を受けました ●本館建て替えに向けてのご案内
- 職員ICLS講習会を行いました



ごろまるだより

2025

冬号

季刊4回発行 2006年1月1日発行 通巻134号 発行所 株式会社 日本医療企画 中部支社

編集 発行人/社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院 〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6 TEL.0568-62-8111

## 病院機能評価の認定を受けました



機能種別版評価項目  
(3rdG:Ver3.0)  
一般病院 2



機能種別版評価項目  
(3rdG:Ver3.0)  
リハビリテーション病院

この度、当院は公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定を受けました。この認定は、当院が提供する医療の質や安全性、組織運営の透明性において高い基準を満たしていることを外部機関に認めていただいた証です。

私たちは、地域の皆さまが安心して医療を受けられる環境を提供することを使命としています。今回の認定は、当院の全スタッフが日々努力を重ね、医療の質向上に真摯に取り組んできた結果であり、皆さまのご支援があってこそ実現したものです。

今後も、私たちはこの認定に甘んじることなく、さらに患者さんに寄り添った医療を追求し、より質の高い、安全な医療サービスを提供してまいります。地域の皆さまにとって、より信頼される病院となるべく、引き続き努力を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 本館建て替えに向けてのご案内

2024年10月20日(日)、本館建て替えの地域住民説明会を行いました。竹腰理事長は、43年間地域に支えられてきた病院が老朽化と耐震化の課題に直面していることを説明。「2019年から地域密着型の新病院計画を検討し、感染症対応や全室個室など患者第一の設計を進めている」と述べました。

新病院は2026年夏：本館完成、2028年夏：グランドオープン予定で、①患者ファーストの徹底、②全室個室：プライバシーの確保・ストレスフリーの療養環境、③高機能・高効率化、IT化を行い、未来のための病院をつくりたいと語りました。



## 職員ICLS講習会を行いました

2024年9月21日(土)、当院において第21回総合犬山中央病院ICLS講習会を開催しました。ICLSは医療従事者を対象とした蘇生トレーニングコースであり、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応および効果的なチーム蘇生」の技術を身につけることを目標としています。



総合犬山中央病院では、救急対策委員会が主導となり、年に2回ICLS講習会を開催しております。本講習会は蘇生に特化したものであり、日本救急医学会の「コース認定」を受けています。今回の講習会には12名の受講者が参加し、院内スタッフがインストラクターを務めたほか、外部からもインストラクターをお招きし、実践的な指導が行われました。地域の救急医療を支え、貢献するため、今後も努力を重ねてまいります。



総合犬山中央病院  
理念

地域の人々が安心して暮らせる  
心の支えとなる病院を目指します



救急は24時間365日  
受け付けています。



当院は敷地内全面禁煙です。  
(屋内屋外含め全て禁煙)

社会医療法人 志聖会  
総合犬山中央病院

〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6  
TEL.0568-62-8111  
<https://www.inuyamachuohospital.or.jp>

# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとございます。

長樂万年（永遠の喜びや繁栄を祈り、幸せな未来を願う）

昨年末本館建て替え工事が始動し始めました。2028年グランドオープン予定です。  
新たな建物が建つ喜び、完成後も末長く維持していく楽しみがあり、  
希望に満ちあふれています。

徹底した患者ファーストの構造、病棟の全室完全個室化、  
高性能・高性能な設備を備えた魅力的な新本館が建つ予定です。

今年の干支は乙巳（きのとみ）で「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味が込められているようです。

当院は1年半の準備期間を経て昨年9月に日本医療機能評価機構による  
病院機能評価の認定を受けることができました。

これから高い病院機能を維持していきけるよう努めていきますので、  
皆様の尚一層のご協力を宜しくお願い致します。

世界ではイスラエル・パレスチナ対立やロシアのウクライナ侵攻など傷ましい戦争が続き、  
多くの犠牲者が命を落とし、暗い話題も多い中、スポーツ界では大リーグ大谷翔平選手の所属する  
ドジャースがワールドチャンピオンに輝きました。

世界中に興奮と感動を与えてくれたその勇士は挑戦することの楽しみや素晴らしさを  
教えてくれました。

これから総合犬山中央病院は未来に向けて理想的な病院をめざして挑戦していきます。  
みなさま、これからも変わらぬご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い致します。

理事長 竹腰篤

あけましておめでとございます。新春を迎え、  
改めて皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

昨年5月に、当院は日本医療評価機構の審査を受け、

9月に合格認定の通知をいただきました。この認定証を病院玄関に掲げました。

日本医療機能評価機構は、各医療機関が質の高い医療を提供していくための支援を  
行うことを目的として、1995年7月に設立されたもので、

医療機関の客観的評価を行い、医療の質を担保し、  
さらなる質向上を促すことを目的とする公益財団法人です。

当院はコロナ禍以前の2019年から医療の質改善活動に取り組んできましたが、  
機能評価機構の審査終了後の9月6日には国際協力機構（JICA）が

ガーナの医療関係者8人を連れて当院のカイゼン活動の視察に来られました。  
「総合犬山中央病院」、「ガーナ」をキーワードとして検索していただくと、

当院ホームページでその報告が写真付きで見られます。どうぞご覧になってください。  
海外からの視察団来訪は、少なくともJICAに当院の改善活動の意義を

認めていただいたようで、職員にとっては嬉しい出来事でした。

この原稿が読まれる頃には病棟新築工事が始まっており、  
ご来院いただく皆様には何かとご迷惑をかけることもあるかと存じますが、

当院は建物も医療提供体制も変えていき、  
地域の皆様からより深い信頼感をいただくため、  
職員一同更なる改善活動を継続していく所存です。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

院長 齊藤雅也

ごろまる  
医療の  
チカラ

多職種が協働しチーム医療で患者さんを支える

地域の頼れるリハビリテーション科を目指していききたい

リハビリテーション科では、脳卒中の後遺症や骨折を中心に、あらゆる疾患や障害に対応しています。充実したリハビリを提供しチーム一丸となって患者さんをサポートしています。今回は、リハビリテーション科の医長である平岡繁典先生に、多職種が協働するチーム医療やガーナ保健サービス職員が視察されたお話、病院機能評価の認定について詳しくお伺いしました。



総合犬山中央病院  
リハビリテーション科  
医長  
平岡 繁典

各職種が自分の得意分野を持ち、スペシャリストとして患者さんをサポート

— リハビリテーション科の特徴について教えてください。

平岡 総合病院の中にあるリハビリテーション科なので、急性期の患者さんのリハビリをまず行っています。そこからお家に帰る手前の回復期の時期を経て、生活期に移行する中で、横断的にリハビリ科として関わっていくのです。常に必要なリハビリを行い、期を変わる時にリハビリテーション部内で申し送りができて、患者さんが切れ目なくリハビリを受けられるのが当院の特徴です。

— チーム医療について教えてください。

平岡 回復期のメンバーは、医師、看護師、リハビリ療法士、栄養士、ソーシャルワーカー、薬剤師、看

護補助スタッフさんがいます。患者さん1人5〜10分の時間をかけてカンファレンスを毎日行います。各職種が自分の得意分野を持っていて、看護師なら日常生活や夜間の過ごし方など、ソーシャルワーカーなら医療資源や家族の情報まで網羅しています。薬剤師、栄養士もそれぞれスペシャリストとして、患者さんの好みや食生活を含めて考えてもらっているのですが、そこにリハビリのプロフェッショナル

のリハビリ療法士が入り、さらに医師が意見全てを統括し、全体が同じ方向に向けるように医師がリーダーシップをとって、各職種の意見をまとめています。また、理想を追いかけている段階ですが、課題や問題点を多職種が意見し合うことで、各職種が単独ではなし得なかった能力改善や、必要なケアの検討、きめ細やかで包括的な支援が行えるように

なっています。認定を受けて病院がすぐきれいになりましたし、作ったルールを守ろうという意識がスタッフの中でも高まってきています。物の数が減ったので在庫管理も楽になり、作業スペースが美しくなって仕事もしやすいですね。これらの取り組みでより安全な医療が提供できるようなったと思います。

— 患者さんへのメッセージをお願いします。

平岡 この地域の頼れるリハビリテーション科を目指したいと思っています。障害を負ってしまった方がなんとか家に帰れるようになりたいです。



**●病院機能評価について**

病院機能評価とは、病院で提供されている診療やケアについて、日本医療機能評価機構が行う中立的、科学的、専門的な見地から審査する第三者評価です。第三者の立場から評価することで、病院の質を向上させ、国民が安全・安心な医療を受けられる環境を整備することを目的としています。病院全体の運営・管理がされているか、適切な医療が提供されているかを判断します。

総合犬山中央病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が定める「機能種別版評価項目 一般病院 2」「機能種別版評価項目 リハビリテーション病院」の認定を受けました。



んに適宜翻訳してもらいながらお話を聞いていただきました。ガーナには、退院支援があまりないようで、そこには甚く感動されましたね。

病院機能評価の認定を受けることでスタッフ全体の意識改革につながりました

— 病院機能評価の認定を受けたのですが、事前の準備など苦労したことは？

平岡 西棟ができて何十年と経っているのですが、現在使っていないものがたくさんあり、一つひとつ整理整頓しました。それを片付けるのが一番大変でした。あとは、マニュアル作りとルール作りです。なんとなく慣例の中でやっていた取り組みや手順を全部明確にして、文字に起こしてマニュアル集にする作業には非常に時間がかかりました。今までなかなかになっていたところが明確になって、かえって仕事が複雑化しなくなりましたが、やらなければいけないことですし、最終的にはシンプル

**●尿で出来るがんリスク検査、新規導入しました!**



miSignal®の特徴

- 肺がん
- 胃がん
- 乳がん
- 卵巣がん
- すい臓がん
- 食道がん
- 大腸がん

**“がん”が気になる方へ**

- ✓ がん検診を受けようと思って、ずっと受けていない…
- ✓ がん家系だから心配…
- ✓ つらい検査は受けたくない

そんな方のために!!

**尿で出来るがんリスク検査**

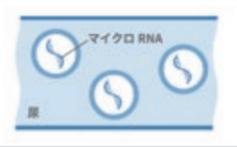
始めました!

すい臓がんのリスクもステージ1から

**マイシグナルの3つの特徴**

- 一度に最大7がん種のリスクを判定
- 尿をとるだけ、痛みなし!
- 事前の食事制限や運動制限なし!

お気軽にお問い合わせください!

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>①</b></p> <p>尿中のマイクロRNAに<br/>着目した<br/>世界初の技術</p>  <p>長年の研究から初期のがん細胞からでも分泌されるマイクロRNAに着目。</p> <p><b>ステージ1がんでも検知可能</b></p> | <p><b>②</b></p> <p>追加検査まで<br/>フォロー<br/>Next stepが明確</p>  <p>どのがんリスクが高いかの情報と共に次受けるべき検査の提案も行います。</p> <p><b>受検者への適切なフォローアップ</b></p> | <p><b>③</b></p> <p>機械学習でがん判定<br/>DX化されたラボで<br/>データ解析・集積</p>  <p>マイクロRNAデータベースを機械学習技術を組み合わせることにより、独自のがん発見プログラムを開発。</p> <p><b>がんを高精度にリスク判定</b></p> |
|--|--|---|

※尿に含まれるマイクロRNAをAIで分析するがん検査技術として業界初

**【お問い合わせ】健康管理センター TEL.0568-62-8246(直通)**

**第20回 ごろまるだより表紙写真コンテスト 審査結果発表**

テーマ:「お正月」

この度もたくさんのご応募を頂きありがとうございました。ここに入賞作品2点を発表いたします。



**優秀賞(表紙採用)**

撮影者:  
**山下 進様(犬山市)**  
タイトル:  
**「成田山へ初まいり」**



**入選**

撮影者:  
**山本 明様(千葉県市川市)**  
タイトル:  
**「回廊の書き初め」**

優秀賞・入選作品は大型写真にプリントし、当院1Fに展示いたします。また、当院ホームページでもお知らせいたします。毎回多くの作品をご応募いただき好評を博していた「ごろまるだより表紙写真コンテスト」ですが、今回開催の第20回を持ちまして一旦終了とさせていただきます。長年に渡り多くの素晴らしい作品をお寄せいただきありがとうございました。また、不定期開催する予定ですのでご応募、ご参加何卒よろしくお願いたします。



**Instagram始めました**



総合犬山中央病院公式Instagramを開設しました。こちらでは日常のこコマイベント、最新ニュースなど地域の皆さま、患者さんに寄り添った病院の情報をお届けします。左側2次元コードからぜひフォローいただくと嬉しいです!いいねもお待ちしております。アカウント@inuyamachugeneralhospital



**●尾北地区感染対策向上地域連携に関する施設ラウンドを行いました**

尾北地区では、江南保健所やその管内の病院・診療所など58施設が連携し、地域における感染対策向上のための情報共有や、新興感染症発生時に備えた対応などについて協議する活動を行っています。また、江南厚生病院・さくら総合病院・当院の感染対策向上加算1を算定する医療機関が年間各4ヶ所、合計12ヶ所の施設ラウンドを行い、地域の病診連携を深めながら、感染対策の質の向上にも務めています。

今年度当院は、みどり診療所・村上内科・かつし家庭医療医院・大川外科胃腸科クリニックの4施設を訪問させて頂きました。A:感染対策活動、

B:診察室、C:標準予防対策、D:感染経路別予防策について、それぞれのカテゴリーをチェックリストで確認しました。特にどの施設も新型コロナウイルスの経験を活かして、一般と感染症診療をしっかりとゾーニングして対応する仕組みが整っており、流行状況に合わせて緩和したり強化したりと、地域住民の皆さんに安心して受診してもらえる体制がとられていました。ご協力くださいました4施設の院長先生はじめスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



【みどり診療所】



【村上内科】



【かつし家庭医療医院】



【大川外科胃腸科クリニック】

**●第25回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in岐阜で発表をしました**

2024年11月15日・16日に岐阜県岐阜市のじゅうろくプラザで開催された医療の改善活動全国大会では、参加者が集まり、医療現場での改善活動について熱心に議論しました。

5年前から毎年院内で改善・活動の発表会を行い、今年度の院内発表会で優秀とされた検査科「採血の取り直し防止」と情報システム管理課「問い合わせ対応時間減少の取り組み」をそれぞれの演題をこの全国大会で発表しました。

発表者以外にも8名のスタッフが参加し、他の医療施設での様々な改善の取り組みについて学ぶ機会を得ました。大会を通じて、各施設が直面する課題とその解決策を共有し、今後の医療の質向上に向けた新たな視点を獲得することができました。各参加者はこの経験を通して、日常の医療業務に活かせる具体的な知識と実践方法を持ち帰ることができたと感じています。

